

健全化判断比率

指 標	結 果	早期健全化基準※	各指標の内容
実質赤字比率	数値なし	13.06%	一般会計を中心とした赤字の割合を表す指標です。
連結実質赤字比率	数値なし	18.06%	一般会計のほか、特別・企業会計も含めた全会計の赤字の割合を表す指標です。
実質公債費比率	7.5%	25%	市の平均的な年間収入に対する借金返済額の割合を表す指標です。
将来負担比率	32.1%	350%	市の平均的な年間収入に対する将来に負担が見込まれる負債(借金)の割合を表す指標です。

※この基準を超えると国の定めに従い、健全化に向けた取り組みが必要となります。

指 標	結 果	経営健全化基準※	指標の内容
資金不足 比率	下水道事業 数値なし	20%	公営企業(滝川市は下水道事業・病院事業会計が該当します)の資金不足額が、事業規模に対してどの程度の割合なのかを表す指標です。
	病院事業 数値なし	20%	

※資金不足比率が経営健全化基準を上回った場合には、経営健全化計画を策定し、経営の健全化に努めなければなりません。

令和 5 年度予算の執行状況——令和 5 年 9 月末現在

▼各会計の現在高

		予算額	収入済額	執行率(対予算)	支出済額	執行率(対予算)
特別 会計	一般会計	230億2,128万円	112億6,928万円	49.0%	101億1,374万円	43.9%
	国民健康保険	44億1,814万円	19億 613万円	43.1%	17億8,938万円	40.5%
	公営住宅	7億2,485万円	2億3,758万円	32.8%	1億7,674万円	24.4%
	介護保険	39億9,195万円	22億9,371万円	57.5%	14億6,261万円	36.6%
	後期高齢者	7億2,116万円	3億5,111万円	48.7%	2億3,191万円	32.2%

▼企業会計の現在高

		収 入			支 出		
		予算額	執行済額	執行率(対予算)	予算額	執行済額	執行率(対予算)
下水道 事業	収益的収支	13億1,526万円	5億5,964万円	42.5%	12億9,921万円	2億3,836万円	18.3%
	資本的収支	4億8,129万円	1億 780万円	22.4%	9億7,983万円	4億9,173万円	50.2%
病院 事業	収益的収支	76億2,797万円	20億2,363万円	26.5%	75億9,678万円	26億5,499万円	34.9%
	資本的収支	8億5,610万円	397万円	0.5%	13億 57万円	2億5,898万円	19.9%

▼一時借入金の現在高

令和 5 年 9 月末現在の一時借入金の残高は 0 円です。
※市が一時的に資金不足となった場合、金融機関から借りるお金を「一時借入金」といいます。



問合せ 財政課 Tel.28-8008

市の財産(令和 4 年度末)

土 地 1,406万㎡	建 物 32万㎡	基 金 現金など 72億4,086万円	有価証券 3,495万円	出資金 37億899万円
--------------------	-----------------	-------------------------------	---------------------	---------------------

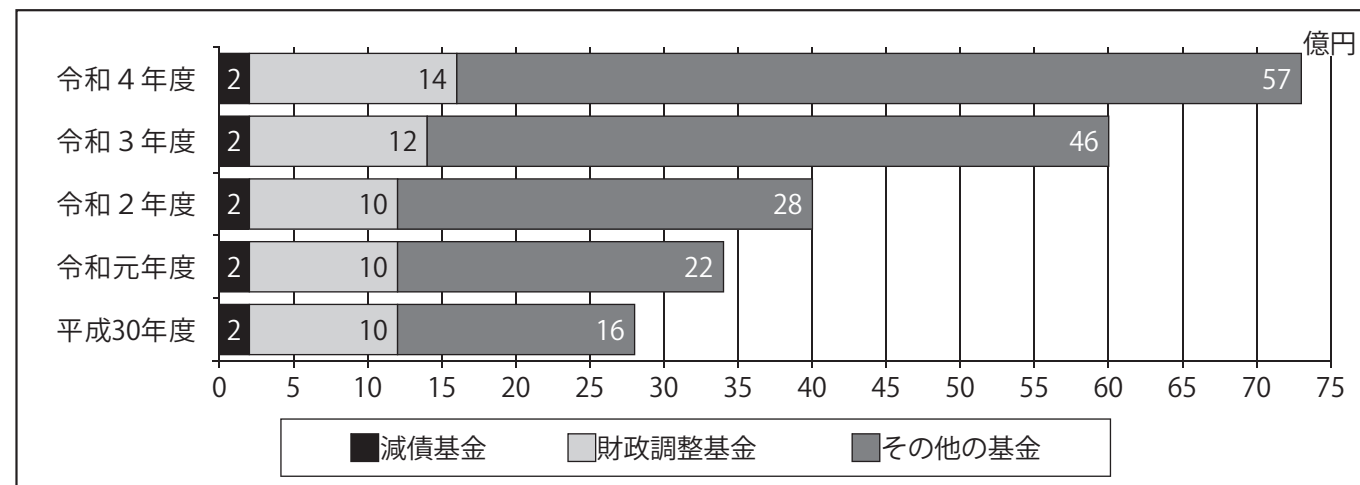
市債の現在高と基金残高推移(令和 4 年度末)

▼市債(市の借金)の現在高

会 計	金 額
一般会計	143億4,045万円
公営住宅事業特別会計	23億2,702万円
下水道事業会計	54億 452万円
病院事業会計	72億6,649万円
合 計	293億3,848万円



▼基金(市の貯金)残高推移



※減債基金とは、将来の借金の返済に備え、積み立てる基金です。

※財政調整基金とは、年度によって生じる財源の不均衡を調整するための基金です。

市民 1 人当たりの金額

令和 4 年度決算を基に税金(国民健康保険税除く)、借金(一般会計分)、貯金を 1 人当たりに置き換えてみました。

- 市民 1 人が納めた税金…………… 115,954円
- 市民 1 人の貯金(基金)…………… 192,121円
- 市民 1 人の借金(市債)…………… 380,494円

※ただし、市債の63.1%は国から地方交付税として戻してもらえる制度がありますので、実質的な市民 1 人の借金(市債)は 140,377円となります。